

2021年度 第一回愛知校教育課程編成委員会「整備」会議報告書

1. 開催日時 2021年7月15日(木) 10:00-12:00

2. 開催場所 日産愛知自動車大学校 多目的ルーム

3. 出席者

(学校外委員) 団体代表 柴田 敦 様 愛知県自動車整備振興会 常務理事
 企業代表 山口 純丙 様 日産プリンス名古屋販売株式会社 課長代理
 企業代表 小泉 富美雄様 愛知日産自動車株式会社 課長
 企業代表 稲垣 俊夫 様 日産サービスセンタ株式会社 課長

(学校内委員) 学校長 松川 健一
 部長代理 鈴木 貴久 教育部
 課長代理 坂口 正憲 教育部 工学科
 課長代理 田名瀬 義治 教育部 整備科

4. 議題

- ・挨拶(企画支援部よりオンラインで参加:本廣学長 中村部長)
- 1)FY20卒業生(販社アンケート)アンケートの結果報告
- 2)国家試験結果報告(一級、二級)
- 3)休退学率の低減
- 4)NIM(日産インテリジェントモビリティ)の授業導入
- 5)日産販売会社との就職授業
- 6)自主性・主体性の育成
- 7)ICT教育の推進

5. 議論

- 1)意見交換と質疑応答 いただいた貴重な意見・指摘については、今後の授業に反映していく。

種別	項目	所属	質問者	主な意見
1	FY20卒業生アンケートの結果報告	説明内容		・アンケートの趣旨目的から過去3年の結果を説明。整備技術については、昨年の結果を上回る項目が増えるものの、ダイヤルフォローや問診等のポイントが下がっている。一方、応対力のスコアについては、昨年を大きく上回る結果となっている。この影響は、整備科卒業生のスコアが全体を押し上げており、中でも留学者卒業生の活躍が想定される。
		プリンス名古屋	山口様	・入庫時の基本的な問診に関わる項目が下がっているが、何か教育を変えたのか。 学校回答:特に変更していない。
		愛知日産	小泉様	・留学者が増えることによる言葉の問題から「基本的な問診」が下がっているかもしれない。留学者は学習意欲が高いため、時間が解決してくれることを期待している。先輩方とのコミュニケーションについては、昨年の状況と変わっていない。できる人とできない人との差が大きい。(取れる方は取れている)
		中部サービスセンタ	稲垣様	・現在、留学者は在籍していないが、留学者に対して学校は何か特別な教育を行っているか。 学校回答:特別なことは行っておらず、日本人と同じ対応です。昨年度は1回/週の間隔で漢字の勉強会を行いました。また、留学者は来日後、直接本校に入学することではなく、日本語学校を卒業してから入学しています。
2	国家試験結果報告	説明内容		・一級自動車整備士:2016年度は問題の難易度が高く40%程度の合格率であったが、2019年度は100%の合格、2020年度は96%と上昇傾向にある。 ・二級自動車整備士:2019年度は93%(4名のガソリン・ジーゼルエンジン両科目不合格者)であったが、2020年度では、ガソリン科目を2名不合格者が、出るものの、ジーゼル科目は100%合格となり、卒業生全員が国家二級を取得することが出来た。
3	退学率の低減	説明内容		・2018年度までは9%程度を推移していたが、2019年度は4.3%、2020年度は4.2%と大幅に改善している。改善要因として、学習意欲・モチベーションが高い留学者が増えたことが退学者数の減少に繋がったと推測される。一方、費用面で厳しい学生もいる為、学費の分割納入などで負担軽減を図っている。
4	NIM(ニッサンインテリジェントモビリティ)の授業導入	説明内容		・整備科並びに工学科の授業に「NIM」を導入。また一級3年生と4年生には日産自動車から開発担当者と整備支援部の担当者を招き講演をいただいた。 さらに一級4年生は、国家二級取得者であるCM(カーボディマスタ)科やMM(マスターメカニック)科の3年生に電子制御装置整備主任者等資格技術講習(実技)のサポートを行った。後日、対象の3年生は、電子制御装置整備主任者等資格の学科試験を受験し全員合格となった。
		プリンス名古屋	山口様	・エーミング調整用の機材について、昨年紹介されたアルティアのドクターラインから変更されたのか?画像にある機器は販売会社で使用しているものと同じであり、より実践に近くて良い。最近はエーミング調整の作業が増えている。
		愛知日産	小泉様	・NIM授業にカリキュラム全体のどのくらいの時間を割いているのか 学校回答:整備科は学科で2時限、実習で2時限です。整備科では1クラス約50名の学生が在籍するため時間がかかります。また、4年生はさらに深く掘り下げて勉強します。
		振興会	柴田様	・愛知県では約13,500人の電子制御装置整備主任者が必要となる中、電子制御装置整備主任者等資格技術講習を昨年度12,400人の受講が終了したが、二級整備士ではあるが整備主任者でない方も受講している。資格の必要な人が約1,200人未受講なので今年度も毎月学科・実技・試験の講習を行う予定。各メーカー系のディーラーも新しい認証の取得を進めている。電子制御装置整備主任者等資格技術講習について、取得希望者がまとまった人数であれば柔軟に対応するので、教育の担当まで早めに相談してほしい。
中部サービスセンタ	稲垣様	・新型車の架装作業では外装部品を外すためエーミング調整は必要な作業となっている。学校で勉強し入社いただけると助かる。		
5	日産販売会社との就職授業	説明内容		・今年度の就職対象者数を報告。昨年と比べ留学者が更に増えたことにより、全体の対象者も増加。日産販売会社への就職を促すために、販売会社連携のもと就職授業を計画している。(販売会社での仕事の理解、日産技術紹介、OBとのディスカッション、企業説明会等)
		プリンス名古屋	山口様	・入社した留学者の方はモチベーションが高い。残念ながら将来母国へ戻る方もいると思われるが、どの程度の割合とらえているのか。 学校回答:弊社入試面接の段階で、約半数が将来帰国するというイメージを持っている。
		愛知日産	小泉様	・入社前に仕事のイメージできることは良い。勉強にもつながり入社前の不安も取れると考えられる。販売会社としてありがたい。
		中部サービスセンタ	稲垣様	・企業説明会にて、今まで行っていなかったOBと接する機会を、我が社でも考えたい。

6	自主性・主体性の育成	説明内容		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、コロナ過の影響で殆どの行事が中止となり、自主性・主体性を育成する機会を失った。一方遠隔授業の経験は、今後のアクティブラーニングへの取り組みにつながるものとなった。 ・2021年度は、行事等での育成から授業内での育成にシフトし、中でも文科省の新学習指導要領にある「思考力・判断力・表現力」を付け加えていく。
7	ICT教育の推進	説明内容		<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度活動計画で「教育の質向上」のためにICTを活用を推進し授業に織り込んでいく。 ・次年度の新入生からパソコンを配付し、授業コンテンツの受信や、授業の課題のペーパーレス化などを行う。 ・コロナ禍において、昨年5月は学習資料を自宅へ郵送し、学内アプリなどを駆使し質疑・応答を行った。大変苦労したことから、今年度は、オンデマンドを利用した教材準備やLIVE授業を提供しながら、コンテンツを充実させていく。これは、日産校としてコロナウイルス収束後も、学生が時間や場所を選ばず学習が可能であり、制作した教材が学園の財産として蓄積していく。 ・課題としては、学内のWi-Fi環境整備や、教員のICTスキルアップが重要となってくる。現在、Wi-Fi工事や教員のICT研修を計画している。 ・今年度作成した動画教材の一部をサンプルとして放映。
		プリンス名古屋	山口様	<ul style="list-style-type: none"> ・工具の使い方の動画は盲点であった。面白い部分を外国語に翻訳すれば外国人からの評価もあがると思う。
		愛知日産	小泉様	<ul style="list-style-type: none"> ・教材のアプローチとしては良い。一方対人関係は忘れないで欲しい。会社の中でも対人関係を築くコミュニケーション能力は重要。
		中部サービスセンタ	稲垣様	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の学生はスマートフォンが全盛のためオンデマンドに慣れている。以前から学生へパソコン配付を行っていると思っていた。ぜひICTを推進すべき。
振興会	柴田様	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい取り組みである。まずパソコンで視覚から勉強し、次に実習で実際に物に触れるとわかりやすい。 		